

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 18

学校名・団体名	鶴ヶ島市立長久保小学校
HPアドレス	http://academic4.plala.or.jp/nagakubo/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	伝統芸能「雨乞太鼓」の演奏
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校では、毎年音楽朝会と音楽会で6年生が地域の伝統芸能「雨乞太鼓」を演奏しています。「雨乞太鼓」は、市の伝統行事である「脚折雨乞」の一部ですが、「雨乞太鼓」は本校の校区のみに受け継がれているもので、地域の方にとっても大切にされているものです。ですから、地域にも公開している校内音楽会の当日は、たくさんのご来賓の方、地域の方が参観されます。子供たちも、たくさんの方々の期待を背負う責任を感じていると同時に、本校の6年生にのみ演奏が許されていることもあり、大きな使命感を持って演奏に取り組んでいます。</p>	

1 対象学年及び参加者数

- ・演奏児童 第6学年75名 ※11月現在
- ・鑑賞者 児童：308名 保護者・来賓・地域の方：およそ300名

2 活動計画

- ・6月 6学年演奏練習開始
太鼓指導者来校
- ・7月12日(火) 音楽朝会にて披露
- ・9~11月 音楽科授業にて練習
- ・11月5日(土) 校内音楽会にて披露

3 演奏内容

- ・楽曲名「雨乞太鼓」
- ・内容詳細

体育館ステージ前に太鼓とタイヤを、ステージ前左右と上に竹をそれぞれセットします。6学年児童を3グループに分け、それぞれが左右、中央に分かれます。楽曲の主題を1回演奏するごとに、掛け声をかけながら場所を移動して演奏します。主題を2回演奏したら、ステージ前中央に置いてあるメインの大太鼓を使い、代表児童2名が息を合わせて演奏します。その後移動をしてもう一度主題を演奏し終了となります。

- ・練習の詳細

学年合同で練習します。和太鼓の台数には限りがあるため、タイヤにテープを巻いたもの、竹にタオルを巻いたものも使用します。前述の通り、3グループに分かれていますので、練習中も主題を演奏するごとに場所を移動しながら活動します。ですから、和太鼓に触れる機会は多くありません。また、場所の移動時には、「雨

降れたんじゃく、ここに懸かれ黒雲」という掛け声をみんなでそろえながら移動します。



4 成果

- ・音楽会での成果

例年およそ80名の児童が演奏するため、太鼓の台数が足りず、タイヤや竹を代用して演奏していたのが実情でしたが、今年度助成金を使用し、3台の和太鼓を購入することができました。これによってさらに12名の児童に和太鼓を叩く機会を与えることができました。また、和太鼓が増えた分、音の高い竹太鼓を減らしたことで、例年以上に重厚感のある音になり、より一層体育館中に響き渡りました。また長胴太鼓はお互い向き合って立奏するため、動きが揃うと迫力も増します。今回2台の長胴太鼓を舞台中央に置いたことで、見た目にも大きな効果を得られました。

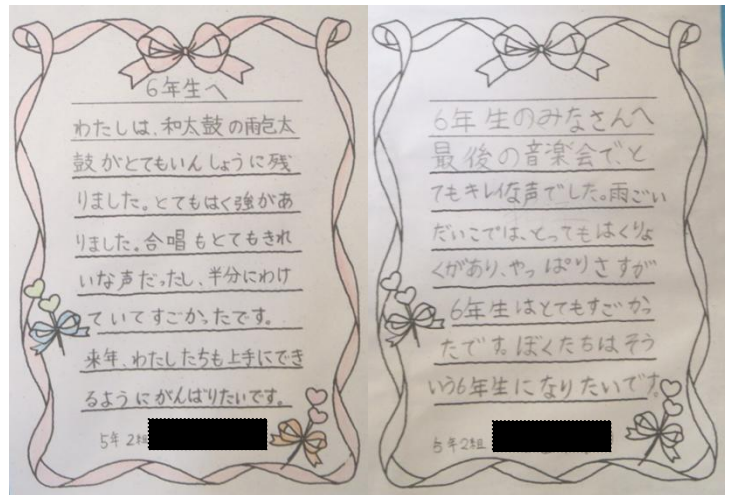


・1～5年生の反応

5年生は、他の学年とは違う特別な思いで6年生の演奏を見聞きしていたようです。受け継がれることのすばらしさを感じ、そして責任感・使命感を持ち、来年の自分たちの姿を思い浮かべながら鑑賞していたことが感想にもよく表れていました。

1年生は初めて聴いたということもあり、様々な反応が見られました。あまりの音の大きさに耳をふさぎながらも、通学班の班長を見つけてじっと様子を見る子、ばちの動きを真似する子、6年生と

一緒に大きな声でかけ声をかける子。1年生が「雨乞太鼓」演奏するのはまだまだ先ですが、きっと今年初めて観た6年生の様子がお手本となって心に残るでしょう。



・参観して下さった保護者、地域の皆様の反応

人数の関係で毎年少し構図の違う「雨乞太鼓」ですが、見に来てくださる皆さんはその違いも含めてとても楽しみにしてくれています。感想用紙には、「雨乞太鼓を聴かないと、音楽会に来た気がしない」と書いてくださるほど、6年生にお子さんがいる、いない関わらず、会のメインとしてとらえてくださっています。

期待が大きいからこそ、反対に厳しく見守られていると感じています。今回のように環境を少しずつ整え、それによって子どもたちが生き生きと活動している様子を見せることができたことは、本校の教育活動になお一層理解を深めていただけるよききっかけになりました。



観る方々から「雨乞太鼓の音が格別にはかっこいいし、感動が伝わってくる感じがした。さすが最上級生らしいし、今年もよく聞きたいと来たい気にならないうわ。今年も雨乞太鼓を聴きたい。あの響きが好きだ。」

5 今後の活動に対する期待

来年の5月に、運動会が予定されています。運動会では、長胴太鼓を使い、応援合戦を行います。今までは長胴太鼓が一つしかなかったため、どちらか一方のチームしか長胴太鼓を使用していませんでしたが、今回購入できたことで、ズシッと響く応援合戦らしい音が両チームから聞こえてくることとなります。また、同じく運動会では地域の方、民謡交友会の方々と一緒に「鶴ヶ島音頭」を踊ります。そのときもCDに合わせて太鼓をたたきます。例年は長胴太鼓1台でしたが、来年からは2台に増やし、さらに雰囲気盛り上がることを期待しています。

本来音楽科の一環である「雨乞太鼓」で使用することを中心に活用を考えてきましたが、他教科・領域の様々な面で活用が期待されます。年度末に今年度の年間計画を見直す際、さらに活用できるよう改善していきたいと思えます。

6 終わりに

今回貴財団のご支援により、質の高い演奏を目標とすることができ、児童の達成感を向上させるとともに、地域により信頼される学校を目指すさらなる一步を踏めたと感じております。また、教材購入により、教育活動をさらに改善するきっかけも与えてくれました。教育効果をより大きなものにしたという本校の考えにご理解いただき、多大なご支援を賜りましたこと、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。